



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 75名 出席 54名 出席率 84.38% 前回出席率 76.56% 修正出席 56名 確定出席率 87.50%

ゲストの御紹介

迎田 稔君

9月は青少年月間ということで木村日出夫君のスピーチをお願い致します。彼は先週はG.S.Eの中で流暢に英語を話しておりましたが、実は湯の沢で依託を含めて約10ヘクタール(10町歩)の水田を耕

作する専業農家の長男でございます。連日農業に励んでいる訳でございます。県立高校在学時代は交換学生としてアメリカに、この前のG.S.Eでも行ってこられ、アメリカの農業も見てきた訳ですので、その辺も含めて将来の農業をどう考えるか、若者の考えをスピーチしてもらいたいと思います。

ゲストスピーチ

庄内の農業を考える

木村 日出夫君



いつも鶴岡クラブの皆さんにお世話になりました。どうもありがとうございます。

先日はG.S.Eの方々がいらっしゃった時に私も同行させていただき、いろんな経験をさせていただきました。そして私、多分前のスピーチで述べたと思いますが、私達は向うで非常に歓迎を受けたものですから、今回彼らが鶴岡並びに酒田の方を訪れまして、その時に皆様方から過分な御配慮いただきまして、私からも御礼申し上げます。どうもありがとうございました。そして山形へ向かう車の中でも団長さんが何度も何度も御礼申し上げておりました。みなさんによろしくお伝え下さいとの事でした。そして山形では斎藤利世パストガバナーからも「鶴岡の皆さん大変御苦勞様でした」と、その様な伝言を賜わって参りました。

今日は「庄内の農業を考える」という題ですが、

私自身このような大きな問題をスピーチする人間ではないのですが、まあ自分の仕事ですので、いつも1人田んぼで仕事しながら、たまには独り言を言いながら、鼻唄を歌いながら、又いろんな事を考えながら仕事をしていますので、いつも考えている様な事をスピーチしてみたいと思います。間違っている事などあると思いますが、このような若造もいるんだなあと思い、聞き流していただけたら幸いです。

現在の庄内の農業を見えますと皆様御承知の通り米が一番大きな産業な訳です。そしてそれに多少の野菜、後は浜中とか砂丘地の農業、イチゴとかダイコン、メロン、その様なものが大部分だと思います。最初に米を考えた場合ですが、庄内の農家は全国的に見ましても経営面積が大きい方だと思います。最近の発表で山形県の場合は平均で一農家1ヘクタール、全国的に見ますと大体0.5ヘクタール位ですから約2倍はあると思います。そして特にこの庄内、鶴岡・酒田・飽海この辺では更にその面積が大きくなり、大体3ヘクタールから3.5ヘクタールが平均的な米

庄内空港の建設を推進しましょう

作り農家の耕作面積だと思います。そして機械化も日本の中で一番進んでおまして、道具はすべてそろっているという様な状態です。

それが一つの泣き所にもなっている訳です。最近はこの機械にかかる経費が非常に大きくなってきて、その割には米の値段が上がらない、今年は据置き、来年からは下がるのではないかとされます。非常に機械にかかる経費が大きくなってきて、大きな問題になっていると思います。

私は高校を卒業したすぐ後にロータリーより交換学生としてオハイオ州に1年間勉強させて頂きました。その時も農家の長男という事で農業には興味があって、いろんな畑を見る機会がありまして興味深く見てきたのですが、今年またG.S.Eでテネシーの農業を見てきました。そしてオハイオの農業とテネシーの農業とは多少違ってまして、オハイオの場合ですと小麦、トウモロコシを中心にした典型的なアメリカの農業でして、そしてテネシーの農業はそれに果物が入ってきております。果物と野菜とトウモロコシと小麦、大麦等を栽培していた様です。アメリカの農業と日本の農業を比較することは面積的にも不可能ですし、農業の形態からいってもまったくむずかしい話だと思います。

日本の農業とは「盆栽的農業」と申し、小さな面積に多量の時間とお金をかけまして細かく念入りに行なう農業で、アメリカの場合は大型機械を使い大ざっぱに行ない、そしてなるべくコストを下げる。簡単に言えばそういう形の農業であると思います。そして経営面積も日本とはまったく比較にならず、こちらの3ヘクタールから3.5ヘクタールというのが向うの400エーカー（200ヘクタール）位の面積になります。

最近新聞でよく話題になります米の値段が、日本の場合は世界的な米の価格から見て約10倍位の値段がします。アメリカとかで作った米と日本の米では作り方も違うし、一概には比べる事は出来ないと思います。でも実際の話、国際競争力がないというのが現状です。これからはそれを改善するような方向で進んでいくものと考えています。今年の場合は米

価が据え置きという形になりましたが、これは議員さん達のおかげでありまして、本当は下がるべきところではないかと、それが経済の原則からいっても下がるのが当然ではないかと考えております。

実際、アメリカのカリフォルニア米とか、あの辺の米と競争しようとするれば経営の方法を完全に変えていかなければならないと思います。今、鶴岡市に農協が沢山ありますが、各支所で大体400～500ヘクタールあると思いますが、それを3人ないし4人で耕作する方法でもっていかないとアメリカの米との競争はむずかしいのではないかと思います。

今、使用しているササニシキの種ですとそれが不可能です。なぜかと申し上げますと、今の方法は20年前にササニシキの種が出来た訳ですが、それから手植えから機械植えになった現在でも基本的な栽培の方法はまったく変わっておりません。春に種をまいて苗を作り、その苗を田んぼに植えていくという方法です。そして雑草は除草剤を使って取り除く訳ですが、その除草剤もなかなか力を発揮致しません。一戸あたりの耕作面積も小さいものですから、どうしても手を加えてなるべく多量に平らに出来るように努力している訳ですが、なかなかむずかしい様な状態です。

アメリカで使用している種は、最近ハイブリッドと申しまして、病気には強く、収量が上がり大変良い種でございます。アメリカの場合はその種の研究に力を入れておまして、向うは企業で種の開発をやっておまして、政府の援助がとても大きいようでございます。小麦を例にとりますと、世界にある小麦の90%の種がシカゴにあるという程です。

それに対して日本の方はかなり遅れてまして、去年あたり秋田小町という種が一般農家でも作れるようになりましたが、最近米なんかを見てても、新しい品種というのがいつからか出てない様に思われます。新潟のコシヒカリ、山形・宮城のササニシキ、どちらの県もそうですが、最近研究が遅れている様です。

ササニシキも20年もたってくると遺伝学的にも最初の良いところがだんだんなくなってきて、悪いと

ころがそろそろ出て来はじめる、そんな年なんだそうです。始めのころは1反歩より8俵でスタートしたんだそうですが、今では11俵位楽にとれる様です。

アメリカの場合ですと飛行機で種をまいて、肥料も、除草剤もすべて飛行機で行なって、それでも1反歩あたり14俵位とれるほど優秀な種を使っている様です。種・除草剤の研究が大学との連携が非常にうまくいっている様に思います。日本の場合ですと農業改良普及所とかの機関がありまして、そちらの方から我々農家の方へ情報が流れてくる訳ですが、実際情報が庄内と内陸との格差がありまして、内陸の方は庄内に比べて1週間位遅く、情報が内陸に合わせてくるものですから、庄内ではすでに遅い情報が流れてくるのが現状です。

これからの方向としましては、米はなるべく面積を拡大し少人数で経営するのが望ましく、大きな改革が望まれます。野菜とか生花等は地元で作った新鮮な物が喜ばれますので、これからますます伸びて行く様に思われます。減反のうまい利用法を考えていかなければならないと思います。若い人達はこのような問題を割と積極的に考えています。昔と違い農業も高度な技術が必要となり、片手間ではなかなか出来なくなってきております。私も落ちこぼれない様に一生懸命がんばっております。

ロータリーの皆さんのおかげでアメリカの農業を見せていただきまして、これをこれからの経営に役立てたいと思います。

会長報告

山口篤之助 君

1. 去る9月9日の例会を時間と場所を変更して行いましたG.S.E団員の歓送迎会には、会員皆様を始めS.A.A、親睦、国際奉仕各委員会の特段のご協力によりまして誠に盛大に、又和やかに行う事が出来ました。ご奉仕に厚くお礼申し上げます。翌日は朝10時に集合、物産館でショッピング後、致道博物館を見学致しました。12時頃、中国飯店で昼食し、団員の方からは日本ではお昼からこんなに多くのご馳走を食べるのですか、などと質問が出る程で、7品以上の料理で満足して山形中央分区へ無事引継ぎました。北楯庄内分区よりも大へん感謝されました。
2. 会員の皆様ご承知のNHK放送局の坂本耕一さんが、手厚い看病も空しく去る9月11日午後6時5分、消化管、腹こう門出血の為お亡くなりになりました。多くの方々より献血をお願いしましたが誠に残念でした。坂本さんは昨年8月に入会され、会報委員会に所属され、今年度は広報委員長をお願いして、5月の米沢市での地区協議会にも出席され、クラブの為に活躍されました。坂本さんのご冥福をお祈りして黙祷を奉げたいと思います。
3. 告別式は9月13日午後1時30分、般若寺さんで行われ、多くの会員の方々が参列され、厳粛に行

われました。クラブからは規定によりお見舞いとお香典、生花、弔辞をお供えました。

4. 9月15日(月)祭日、東根R.C創立20周年記念式典にはクラブを代表して板垣広志さんより参列していただきました。ご苦労様でした。
5. 本日4時より第2回クラブ協議会を住よしで行います。各委員長さんは是非ご出席願います。尚終了後5時30分より懇親会を行いますので、親睦を深める為にも多くの方のご参加をお願いします。
6. 9月23日(火)は秋分の日で例会はお休みとなります。お間違いのない様願います。

幹事報告

松田士郎 君

1. 国際ロータリー南西太平洋地域大会参加のお知らせ
11月13日～16日までオーストラリアのアデレードで開催されます。詳細は事務局まで。
1. 1987年卓上用ロータリーダイアリーのご案内
1部1,000円 申込者は事務局まで
1. 東北電力柳鶴岡営業所より資料「東北電力情報No.30」到着、回覧。
1. 会報到着、回覧
東京ウイークリイ、鶴岡西R.C、酒田R.C
酒田東R.C、遊佐R.C
1. 活動計画書・活動報告書到着、回覧。
遊佐R.C

1. 国際R.C第268地区西宮夙川R.C認証状伝達式
のご案内

日 時 11月6日(木) 午後4時点鐘

場 所 宝塚ホテル

登録料 15,000円

故NHK局長坂本耕一君の告別式の御礼

NHK山形放送局局長 佐藤 益 躬 氏

皆さんこんにちわ。NHKの山形放送局の佐藤でございます。山形R.Cに所属しております。先ほど会長よりご紹介ありましたように、故坂本局長の当クラブ所属中、一年余りでありましたが皆様には親しくお付き合い頂きまして本当にありがとうございます。又、8月4日に病院に入院した訳であります。その後ロータリアン皆様がたの御協力を得まして献血をお願い致しました。奥様も大変感謝しておりますが、本来ならば伺って御挨拶すべきであります。私によりしくとの事でしたのでお伝え申し上げます。本当にありがとうございました。又、告別式の際は多数の方に御参列頂きましたが、会場取り込んでおまして、いちいち御挨拶出来なかった事をお詫び申し上げます。

坂本さんについては皆様御承知のように、もともと本職はカメラマンでございました。日本にテレビが出来て最初の頃は映画界からカメラマンが参りま

したが、坂本局長はNHK生え抜きのカメラマンでございます。外国もかなり方々まわっておられます。お世辞でなくNHKの中で10本の指に入るカメラマンでございました。なお坂本さんは富山の御出身でございますので、いずれ時期が来ましたら富山の土になるというふうに奥様より伺っております。当クラブ所属中、入院中又告別式、それぞれ本当にありがとうございます。御礼申し上げます。

これで普通NHK放送は終る訳でございますが、コマーシャルをNHKはしない事になっておりますが、今日は特別に1つだけコマーシャルをさせていただきます。実は山形放送局が昭和11年11月30日に開局致しました。満50周年を迎えます。鶴岡放送局は5年ほど遅れましたが、実はその50周年を記念しまして、今週19日から山形松坂屋において面白放送博を開催致します。24日まででございます。山形の近くにお越しの際にはぜひお立ち寄り下さい。

故坂本耕一君への献血に対する御礼

佐々木 詰 彦 君

只今NHK山形放送局長の佐藤君より御礼の言葉がございましたので、重複する件に関しては申し上げますませんが、供血をお願いするにあたりまして詳しい病名その他は伏せさせて頂きたい、こういうお願いで特別供血をお願い致しました。新聞に病状その他書いてありましたので、だいたいのところはご存じだと思いますが、実際にはS字状結腸悪性腫瘍これが最初の診断でございます。属にいう大腸ガンという事です。

逝去に至るまでの経過を簡単に申し上げますと、第1回目の手術を8月7日になさいました。回復が遅いという事で1週間後第2回目の手術をした結果縫合ミスが見つかり、縫合ミスのため腹膜炎を起していた為、2回目の手術できれいに洗浄したという

事です。ところが回復しないので、その後1週間後に第3回目の人工肛門をつける手術を致しました。その後人工肛門が脱落いたしましたので、第4回目の手術を行ないました。その間回復に全力を尽したのですが、出血が非常に多いという事で、24日から供血を開始致しました。24日までにはNHKの職員のみなさんが、山形から血液を運んだりして補っていましたが、とても足りないということで例会の時に皆さんにお願い致しました。28日からこちらの方で供血を開始致しました。皆さんからいろいろ御協力頂きまして、実際に登録していただいた方は130人を越え、その中から血を頂いたのは、およそ107人位ではないかと思われま。各人に御礼を申し上げる事が現在出来ない状態ですので、供血をして頂

いたそれぞれの会社、事業所の方々には、先程奥さんとお話し致しましたところ、今日とりあえず私が友人代表として御礼を申し上げておくという事で御了解いただきたいと思ひます。

新聞には本籍が名古屋というふうを書いてありますが、名古屋はお父さんがお生れになった所で、中学1年の時に疎開で富山、お母さんの実家に戻られ、そこにお墓がありますので、お骨はそこに納めるといふことでございます。

在任期間は広島、東京、名古屋、郡山、ここを行ったり来たりで、最終の着任地は鶴岡でございました。ここが終の棲家になるので、ここでお葬式を出していただきたいと奥様のたつての御要請で、鶴岡でさせていただきました。御宗旨は禅宗という事でございましたが、鶴岡でこのクラブに私と藤川君がおいでになります。そのお二人から最後を見ていただきたいという奥様の申し出ございました。そこで般若寺で告別式をあげさせていただいた訳でございます。

坂本君はカメラマンとしては非常に優秀な方で、又、暖かい目で物を見る方でございました。私共の幼稚園に今年の4月から1週間に数回お通いいただきまして、子供達と共に遊びながら記録を撮っていただいていた。それも未完成という形で終わってしまい非常に残念です。

皆様がテレビの中で御覧になった坂本君の業績はソ連のオリンピック、「自治」という番組ではヨーロッパ・アメリカ全土をまわっております。それからグアムに横井庄一さんと共に、ルバング島に小野田ヒロオさんと共に、天皇御訪米の際にはカメラマンとして御同行されました。このような輝かしい業績がございます。

9月11日に人工心臓をつける所までまいりましたが、これは奥様のたつての希望で坂本さんが人工心臓をつける様になったら、これは絶対にしないではないというお話があったという事で、人工心臓をはずしました、という御報告がありました。ひとつひとつ細かく申し上げる時間がございませんが、大体の経緯としてこの様な事を申し上げておきます。亡くなられてから病理解剖をさせてほしいと病院の申し出がございました。腹部を病理解剖をした結果を伺いましたところ、肝臓が約1.5倍に肥大し、副腎が3分の2の大きさに縮小していたという事でございました。その他軽い脳梗塞の状態も併発していたという事でした。

今は何を申し上げても仕方がない事ですが、非常に残念な事を致しました。皆様に供血に際して大変御協力いただいた事御礼申し上げ終りたいと思ひます。ありがとうございました

「市民の森の会」よりお願い

三井 健君

今年度も市民の森の会に御入会をお願い致します。年会費が1口500円で、何口でも結構でございます。よろしく御礼申し上げます。

ロータリー財団委員会

手塚 拓君

今日はロータリー財団の寄付の日です。1人1ドル以上よろしく御礼致します。1ドルは156円ですが、1円玉がないと思ひますので、160円御礼致します。

総額8,816円集まりました。ありがとうございました。

雑誌委員会

加藤和一君

最初に今日皆さんの方に配布となっておりますが、バナー月信が前年度の最終号でございまして、前年度の総括としてとりまとめになっております。当クラブからもバスターの石黒慶之助先生の所感、それからG.S.Eの木村日出夫君の帰国報告等が掲載となっておりますので、ぜひご覧頂きたいと思ひます。それから、おとといの9月14日に第253地区のクラブ情報・広報・雑誌委員の特別研修会がございましたので、米沢に行つてまいりました。研修会の内容を簡単に申し上げたいと思ひます。

研修会には九里ガバナー先生、それから会津若松R.Cのノミニーの志藤和夫先生等、沢山地区の情報・広報の委員の方々が講師として、約半日間行なわれました。

内容を簡単に申し上げますと、本年度国際R.Cのターゲットは「ロータリーは希望をもたらす」という事になっておりますが、それを受けまして当253地区の九里ガバナーはサブタイトルとしまして「ロータリーをみんなに」という事を提唱しておりますので、広報それから情報・雑誌が非常に大切だという事を強調しておられまして、本来ですと分区ごとにフォーラムを計画いたしましたけれども、なかなか日程がとれませんので、今日の研修会になったという事でございます。

ガバナーのお話の中で要点を申し上げますと、やはりロータリーの原点を探る事がまず大切ではないかという事で、次の3つの点を強調しておられました。1つは我々ロータリー内部の事でございますが、優れた先輩やそれぞれの諸先生の業績、思想についてお互いにもっと勉強し合おうという事が1つと、2番目としまして一般社会から理解されている部分が不足しているのが現状ではないかという事を反省と同時に、一般社会地区を巻き込んだ行事も考える必要があるのではないかという事をおっしゃっておられます。3つ目は広報・情報の原点はまずお互いの勉強であるという事であるとおっしゃっておられました。

最後に、大変いい言葉だなあとってお聞きして来ましたが、いろいろ花がございまして、ロータリーの場合も花を咲かせる根が我々会員でございまして。その花に肥料を与えなければならぬ。その肥料が広報・情報・会報・雑誌の各委員会がそれに当たるという事だとおっしゃっておられました。なお関連の資料がありましたので、幹事の方に渡してありますので各委員長さんご覧下さい。

それから最後に来年の話になりますが、5月22日から24日まで2泊3日で、米沢西R.Cがホストになりましてライラの開催を予定しております、そのポスターが早々とまいっております。開催間近になりましたら1会員1枚ずつ再度ポスターを配布したいと思っております。各関係企業、関係のない企業か

らもぜひ青少年を参加していただいでほしいとの要請がございました。

簡単ですが以上で報告を終わらせていただきます。

親睦活動委員会

関原 亨 司 君

布花教室の開催日が迫っております。申し込みまだの人は至急お願い致します。

笹原 桂 一 君

ホールイン・ワンおめでとう

去る9月17日湯野浜カントリークラブで開催されました当クラブのゴルフコンペで笹原桂一君が、アウトの7番で見事ホールイン・ワンを達成されました。使用クラブは6番アイアンでした。おめでとうございました。

なお、成績は以下の通りです。

優 勝 飯野 準 治 君
準優勝 藤川 亨 胤 君
第1位 加藤 賢 君
B . B 富田 孝 一 君

お詫びと訂正

第1372回例会の池田好雄様のゲストスピーチの会報の中に誤字がありました事をお詫び申し上げます。

浜田寸射子さんの「講演」を「公演」に訂正させていただきます。

又、池田好雄様に御迷惑おかけしました事、お詫び申し上げます。

ス マ イ ル

藤川 亨 胤 君 G.S.Eで大変お世話になりました。

ゲ ス ト

木 村 日出夫 君

ビ ジ タ ー

山形R.C 佐藤 益 躬 君
鶴岡西R.C 佐藤 拓 君 . 石黒 慶 一 君
古川 暁 一 君